いわて復興だより

がんばろう！岩手　つながろう！岩手

三陸復興

第 86 号

平成 27 年 6 月 15 日号

復興に向けて歩み続ける岩手県の今を紹介します

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災津波。発災以来、全国そして海外からも多くの温かい励ましや御支援をいただいております。心から感謝申し上げ、この「つながり」を大切にしていきたいと思います。

日中と朝晩の温度差を感じる中、雨が降る日も増え、梅雨入りの気配を実感する今日この頃。

復興に向けて歩み続ける岩手の今を紹介します。

『被災３県任期付職員採用試験合同説明会』を開催しました　東京都

平成 27 年６月６日（土）に東京都庁・都議会議事堂・都民ホールにおいて、「被災３県（岩手県・宮城県・福島県）任期付職員採用試験合同説明会」を開催しました。

この説明会は、復興事業に携わる任期付職員の募集に関し、一度の機会で多くの被災自治体の現状を知ってもらい、受験希望者の選択の幅を広げてもらうため、東京都及び復興庁の協力を得て、初めて被災３県合同で開催したものです。

当日は 200 人を超える方々が参加。初めに、復興庁の小泉進次郎復興大臣政務官が、東日本大震災津波発災後の被災地の様子や復興の状況を説明し、「震災から４年が経過したが、まだ課題は多い。復興に関わる仕事は決して楽ではないが、力を貸してほしい。皆さんと被災地の現場で会えることを楽しみにしている。」と呼びかけました。

また、３県の担当者が、各県の復興への取組状況や募集内容を説明。その後、自治体ごとに相談ブースを設置して、参加者からの個別相談に応じました。

小泉進次郎復興大臣政務官による説明

満席となった説明会場の様子

個別相談の様子

◆ 岩手県任期付職員募集中 !! ◆　詳しくは　岩手県職員募集案内　検索

一般事務　【申込期間】平成 27 年５月 29 日（金）～６月 19 日（金）【一次試験】平成 27 年７月 12 日（日）

総合土木・建築【申込期間】平成 27 年５月 29 日（金）～７月　３日（金）【一次試験】書類選考

「第１回いわて復興未来塾」が開催されました　盛岡市

平成 27 年５月 30 日（土）、「第１回いわて復興未来塾」がホテルニューカリーナ（盛岡市）で開催されました。

同塾は、岩手県内の産学官の連携組織「いわて未来づくり機構」の主催で、復興に関わりたい人たちに学び合いと連携の場を提供することを目的とするもの。復興に関心を持つ約 150 人が県内外・業種を問わず参加しました。

第１回となる今回は塩崎賢明（よしみつ）立命館大学教授が「阪神淡路大震災の経験から感じたこと」「東日本大震災津波の中で思っていること」「今後の震災に対して留意すべきこと」等について、また野田武則釜石市長が釜石市における復興の現状・課題等についてそれぞれ講演し、後半には塩崎教授、野田市長に達増知事を加えたパネリスト３名によるパネルディスカッション「被災者に寄り添う復興まちづくり」が行われ、復興に対する様々な意見交換がなされました。

パネルディスカッション後には参加者からの質問も寄せられ、同塾の掲げる目的「復興に関わりたい人たちに学び合いと連携の場を提供する」が実践される事となりました。

次回の「いわて復興未来塾」は平成 27 年７月 18 日（土）に開催されます。

満席となった会場の様子

「講演者らによるパネルディスカッション」の様子

三陸だより

サラダや煮物に！「すきコンブ」作りが最盛期

普代村の「すきコンブ」は、肉厚でシャキシャキした歯ごたえがあると好評！

「すきコンブ」は、水揚げされた養殖コンブを湯通し、細長く刻んで木枠の中に均一に敷き詰め、乾燥させシート状にしたものです。

ふだいのアンテナショップ　検索

普代村

写真提供：普代村・太田修一さん

ウニ漁が、６年ぶりに復活！

岩手県の本格的なウニのシーズンが到来です

平成 22 年はウニの身入りが悪いため出漁が見送られ、その後、東日本大震災津波の影響で先送りされていた大船渡湾でのウニ漁が、平成 27 年５月、６年ぶりに復活しました。

大船渡市

宮古市田老地区に「渚亭たろう庵」がグランドオープン　宮古市

平成 27 年 6 月 1 日（月）、「渚（なぎさ）亭たろう庵（あん）」（宮古市田老）がグランドオープンしました。

これは、東日本大震災津波で被災し、震災遺構として保存が決まっている「たろう観光ホテル」が、景勝地「三王岩」を一望できる近くの高台に場所を移し、再建したものです。

「渚亭たろう庵」は、本館・展望棟・離れ棟の 3 棟で構成され、客室は 13 室。全客室に露天風呂が整備され、食事は、三陸の豊富な海の幸を存分に楽しむことができます。

また、同施設には、東日本大震災津波の発災時に「たろう観光ホテル」の 6 階から撮影した津波の映像を上映するスペースが設けられており、宿泊者の希望によりビデオ上映が可能で、震災の記憶を後世に伝える役割を担う宿として、多くの期待が寄せられています。

「渚亭たろう庵」の全景

「渚亭たろう庵」からの眺め

気仙中学校の生徒が、支援の浴衣で着付けに挑戦　陸前高田市

平成 27 年 5 月 26 日（火）、陸前高田市の気仙中学校（鈴木利典校長、全校生徒数６９人）で、浴衣の着付け教室が行われました。

これは、京都市の NPO 法人「きものを着る習慣をつくる協議会」と、陸前高田市の「前結びこんの着付教室（代表・金野ヨシ子さん）」の協力のもと、被災地支援として全国から贈られた浴衣の一部を使用して行われたものです。

同校には、東日本大震災津波で浴衣を流された生徒もおり、和装文化を学びながら浴衣を着させてあげたいとの想いから、家庭科の授業の一環として取り組まれました。

当日は、同校の 2 年生 24 人が、金野代表と 6 人の講師から指導を受けながら浴衣の着付けに挑戦し、慣れない手つきの中にも喜びの表情を浮かべていました。（写真提供：気仙中学校）

「浴衣の着付け教室」の様子

着付けを教わる生徒達

未来のさんりくびと

被災地・三陸の復興へ向け、多くの若者が情熱を注いでいます。連載「未来のさんりくびと」では、毎号、復興への熱い想いを秘めた若者を紹介していきます。
第 40 回目は、熊谷 侑希さんを紹介します。

特定非営利活動法人
さんりく WELLNESS
理事長　熊谷 侑希
（くまがい ゆき）さん

熊谷さんからのひと言：
健康寿命を伸ばしたい

PROFILE

大船渡市末崎町出身。
高校卒業後、東京の体育系の大学に進学。大学卒業後、都内のスポーツクラブに勤務。平成 25 年 1 月に大船渡市に戻り、応急仮設住宅での支援等を手伝う。平成 26 年 5 月、特定非営利活動法人さんりく WELLNESS（ウエルネス）を立ち上げ、応急仮設住宅を廻り健康とコミュニティ作りの活動をしている。

健康とコミュニティ作りに力を注ぐ

東京のスポーツクラブに勤務していた熊谷さんは、東日本大震災津波発災の後、地元の大船渡市を訪れ、避難所を廻り体操教室を開催しました。

避難所でずっと座っている人や、横になってばかりいる高齢者を見て、「このままでは体力が落ち、寝たきりになってしまうなど、今後の生活に不自由が出るのではないか」と当時の印象を振り返ります。

そして、より本格的な高齢者の健康支援のため、平成 25 年に大船渡市に戻り、今は応急仮設住宅を中心に、体操教室の開催やコミュニティ作りに力を注いでいます。

健康寿命を伸ばして元気な暮らしを

教室を開催する中で地域の方々と触れ合う機会も多い熊谷さん。「最近では、災害公営住宅もでき、応急仮設住宅から引っ越す人も増えてきていますが、まだ応急仮設住宅を出ることができない人の中には、今後に不安を持つ人もいます。また、引っ越した人の中にも、その都度コミュニティに溶け込む苦労もあるようですが、高齢の方々も元気に自分で活動するために、健康寿命が伸びてほしいです。これからは、地域単位で集まれるイベントや高齢者がもっと外に出て活動できる場があったら良いと思います。」と今後の暮らしのあり方と、コミュニティの活性への期待を話しました。

岩手県の被害状況　平成 27 年 5 月 31 日現在

▶人的被害　死者（直接死）：4,672 人　行方不明者：1,129 人
▶建物被害（住家のみ、全半壊）　26,163 棟

被害状況等の詳細
義援金・寄付金の募集等　いわて防災情報ポータル　検索

皆さんのご支援、ありがとうございます　平成 27 年 5 月 31 日現在

▶義援金受付状況　約 183 億 8,684 万円（91,483 件）
▶寄付金受付状況　約 196 億 7,911 万円（7,337 件）
▶いわての学び希望基金受付状況　約 75 億 5,394 万円（15,622 件）
※ 被災したこどもたちが勉強やスポーツ等に励めるよう「くらし」「まなび」の支援に使われます。

ビジュアル豊富な【いわて復興だより Web】もご覧ください !!　http://iwate-fukkoudayori.com

いわて復興だより　第 86 号　平成 27 年 6 月 15 日号　企画・発行：岩手県復興局復興推進課　☎019-629-6925
いわて復興だよりバックナンバーは　いわて復興だより　検索
編集・印刷：シナプス

【次回のいわて復興だよりについて】次回は 7 月 1 日号の発行を予定しています。